

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：土木課

施策名	36 治山・治水
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・河川や急傾斜地崩壊防止施設の整備が進み、豪雨や震災時などにおいても安全な生活を保つことができます。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
排水路整備延長	m	1,208	1,239		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	250	497			

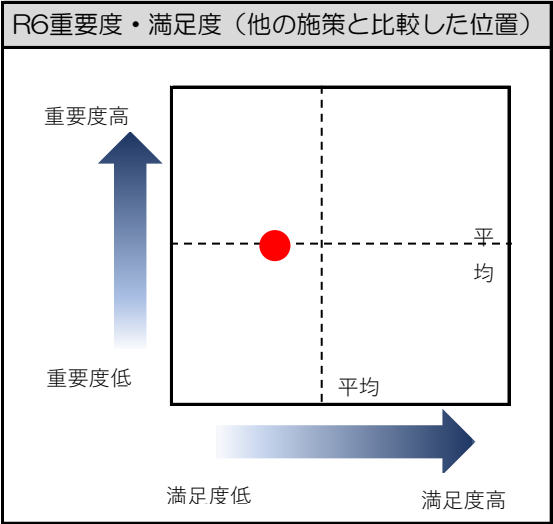
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
浚渫整備	m	2,337	3,463		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	2,470	3,587			

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
228

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和5年度		令和6年度
86.3		83.9

※増減（➡）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

近年の災害は頻発化・激甚化しており、いつ・どこで発生してもおかしくない状況です。災害による被害を最小限に留めるための事前防災対策として、緊急浚渫推進事業債を活用しながら、普通河川における河川浚渫事業（河川内に堆積した土砂を除去することにより、本来の河道断面を確保し、流れを円滑にする事業）を効率的に実施していきます。また、排水路整備については、整備延長の目標値には達していますが、今後も継続的に実施し、排水性の向上を図っていきます。